

評議會に詰問す

濱松に来て居る評議會の連中に詰問したいことがある。君等は我々をごまかして争議を起させたが、我々の福利増進と地位向上の爲にしてやるどいつて居りながら事實は我々を苦しめ我々の家族を苦しめ我々をおどかしたり、たゞいたり、それでどこに我々の利益があるのだ。我々からは莫大な金をとり上げた、一人から二日、日當と外に會費の前どりやら旗代とやら、メタル代とやら何だかんだと一圓以上もどつて居るではないか。千三百名の職工から二日、日當はデツかいよ。一人當り日給平均二圓二錢だと云ふから結局合計六七千圓はせしめたことだ。そして炊出しが手辨當になり一食十錢づゝからとられるのだ、一體其金はどこにどうして使つた。もうよい加減に正體を現はせ、そいつ迄も世の中をごまかせると思ふのかい。炊き出しでもすれば兎に角一體何にその金を使ふのか。そこで我々は

評議會の連中に嘘のない 會計報告を請求する

今日迄の收支決算を明にせよ。但し断つておくが我々は君等の女郎買代までは引受けてないぞ。出鱈目屋の大將連中だからどうせゴマカシをやるのだらうが、報告の結果をまつてから糾弾してやるから至急右報告をせよ。どうだ恥かしくて出来ないか。

右大正十五年五月二十日正午迄に濱松市民諸君に公表せよ。然らざれば曾て並に現在争議團員一同に回答せよ。争議終了後だとか會計は公表するものでないとか何とか屁理窟を付けて責任回避をするな。此際レーニンの肖像でも拜んでゴマカシと責任回避とをせぬやうにしろ。弱い者が本當に馬鹿にされ、いちめぬかれたあかつきにはどんなになるか知つてるか。

争議團員兄弟よ

君等は我々と一しよに評議會の奴等にだまされてきた。君等が何よりそれを知つて居る筈だ。もういゝ加減に見切をつけて一舉に脱退さ

れてはどうですか。砂を詰めた米俵を大ダサに運込んでそれで三重縣から同借してよこしたお米だどいつて居る、随分人食つた話ぢやアないか。同じ電報をナンペンでも讀返して度々應援の電報が來たやうなことを言つて居る。電報用紙の折目がスリ切れて居るじやアないか。米でも電報でも結局諸君をゴマカすへ々な芝居に過ぎないのだ。奴等は我々を苦しめて犠牲にして、それで自分等の利益を得て居るんだ。

損をするのは我々て得をするのは奴等なのだ

もうよい加減に見切をつけて我々の家族のために濱松の平和のために善良分子丈復歸脱退して仲よく暮さうではないか。警察でも日本主義労働同志會の連中でも濱松の市民でも顔役連中でも誰でも正しい我々に味方してくれるよ、脱退大賛成なんだよ。だから我々には正義の味方と人の力の味方がある。二十人でも五十人でも百人でも五百人でも一日も早く脱退しやうではないか。

不良な友達共よ

亂暴に我々をたゝいたり、脅かしたり苦しめたりした不良な人達、君等は随分馬鹿な生意氣な人達だ。奴等のオダテにのせられていゝ氣持ちになつて我々をイヂメた罰に君等は結局首になるぞ。そしてそれは我々の犠牲になつたのだから會社からも金をとり我々からも金をとると云つて居る、そんなにウマクゆくものか。金がほしけりや君等を本當に犠牲にしたのは評議會だ、評議會からもらひ給へ。我々は一文だつて出すことはない、イヂメラれたり金を出したりそんな馬鹿げた話があるか。

善良なる兄弟よ

お互に馬鹿にされたくはないのだ。早く不良分子を残して脱退しようよ。早くしないとそれ大損だよ。

日本樂器争議團脱退聯盟